

週間漁海況情報 2025年第36号

令和7年9月9日発行

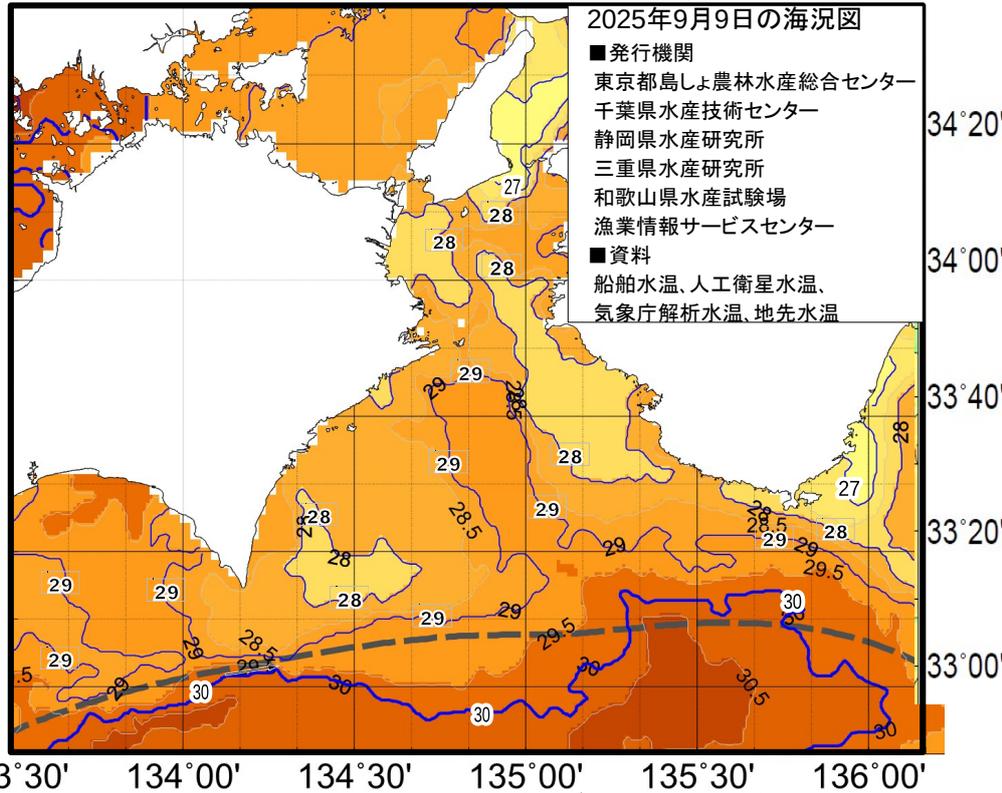
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖30マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「やや離岸」している。

黒潮の表面水温は28～30℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で28、紀伊水道で27～28、海部沿岸で27～29℃台となっている。



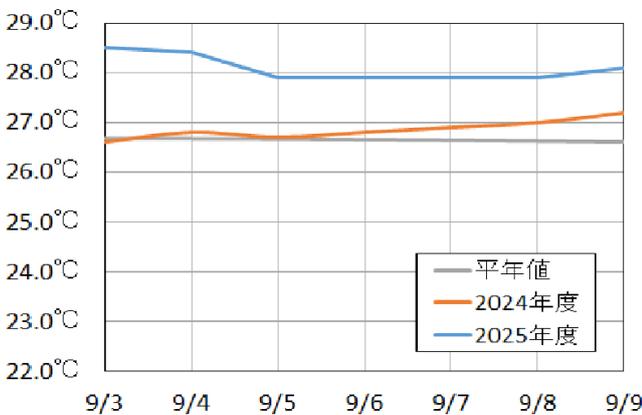
※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

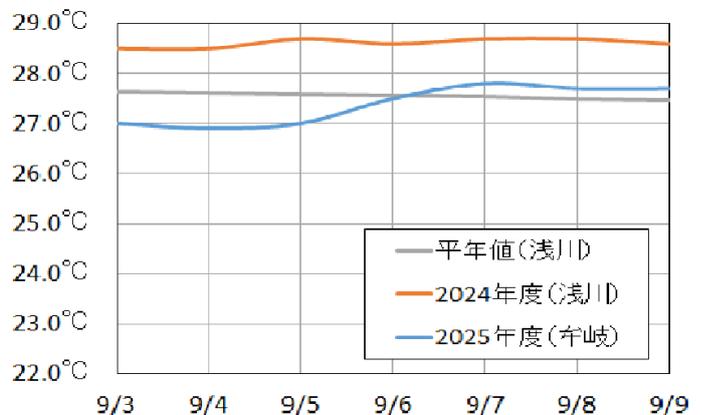
2. 地先水温(9月3日~9月9日 浅川地区は水温計故障のため牟岐地区の水温を用いた。)

鳴門地区の水温は、28.5～27.9℃で「高め」から「やや高め」で推移。牟岐地区は、26.9～27.8℃。鳴門と牟岐地区の水温差は、-0.1～-1.5℃だった。

鳴門地区



牟岐地区(昨年度と半年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(9月10日~9月16日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「やや離岸」して推移する見込み。
 地先水温は、鳴門地区で「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (9月1日～9月7日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが35.7ト水揚げされた。

延縄では、ハモが減って中主体に3.6ト、サワラが大きく増えて0.7ト、

あまだい類が減って0.6ト水揚げされた。

底びき網では、イボダイが増えて4.1ト、ハモが減って中主体に1.8ト、

えそ類が0.7ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく増えて豆あじ級主体に5.7ト、

メイチダイが0.8ト、マルアジが増えて小主体に0.8ト、

マサバが大きく増えて小小主体に0.6ト、カンパチが減って大主体に0.2ト、

ふえふきだい類が大きく増えて大主体に0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

延縄では、あまだい類が大きく減って0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	49	シラス	35,694	728		→
	延縄	56	ハモ	3,565	64	中主体	↘
		24	サワラ	688	29		↗↗
		34	あまだい類	599	18		↘
		20	イボダイ	4,136	207		↗
	底びき網	19	ハモ	1,768	93	中主体	↘
		27	えそ類	740	27		→
		26	マアジ	5,650	217	豆あじ級主体	↗↗
	小型定置網	26	メイチダイ	802	31		→
		27	マルアジ	775	29	小主体	↗
		14	マサバ	556	40	小小主体	↗↗
		19	カンパチ	228	12	大主体	↘
		6	ふえふきだい類	103	17	大主体	↗↗
		10	あまだい類	273	27		↘↘
海部沿岸	延縄	10	あまだい類	273	27		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘